

令和5年度 年次事業評価書 (評価対象年度: 令和4年度)

施設名: 日進市にぎわい交流館

概要	施設所在地・所管課		日進市蟹甲町中島277番地1	所管課: 市民協働課
	設置目的		市民の様々な交流を促進することにより、健全な地域社会の形成に寄与するため。	
	指定期間・選定方法		平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日	選定方法: 公募
	指定管理者	所在地	名古屋市中村区太閤四丁目6番22号	
	団体名・代表者	コニックス株式会社 代表取締役 吉田 治伸		

	令和3年度	令和4年度	前年度比
指定管理料(市委託料)	24,427千円	24,427千円	100.0%
利用料金収入	646千円	799千円	123.7%
施設利用者数	13,229人	17,509人	132.4%

分類	評価項目	評価基準	評価点 (5~1点)
共通 評価 事項	1 法令等遵守	法令、条例、業務仕様書等に基づき、必要な施設の維持管理、点検、報告等が適切に行われている。	4 点
	2 清掃業務	業務仕様書に基づき、清掃業務・維持管理が、適切に行われている。	4 点
	3 保安警備業務	業務仕様書に基づき、保安・警備業務が、適切に行われている。	4 点
	4 業務の委託	第三者への委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切に行われている。	4 点
	5 業務記録	業務日誌及び点検、修繕等の履歴を適切に整備し、保管している。	4 点
	6 職員の配置	必要な資格、経験を有するものなど、事業計画書に即し、人員を過不足無く配置している。また、従業員の労働条件、賃金水準が、適正に確保されている。	4 点
	7 職員研修	施設の設置目的達成のために必要な研修・教育が、適切に行われている。	4 点
	8 個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策を適切に講じられている。	4 点
	9 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保され、また、マニュアルが整備されている。	4 点
	10 施設利用の状況	利用者数や施設の稼働率は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4 点
	11 利用促進業務	施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動が適切に行われ、その効果が認められる。	5 点
	12 利用者支援業務	施設利用者が円滑に活動できるように、必要な指導・助言が適切に行われている。	4 点
	13 モニタリング	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組が適切に行われている。また、事業報告書等による市への報告・説明が、適切に行われている。	4 点
	14 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が、適切に行われている。	4 点
	15 収支の状況	利用料収入は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4 点
	16 予算執行	施設の事業収支は、適切な手続きに沿って執行されている。	4 点

特記事項	標準点(4点)を上回る 評価をした項目と理由	標準点(4点)を下回る 評価をした項目と理由	その他特記事項
	【11 利用促進業務】 ワンディシェフを新型コロナウイルス感染症前の賑やかさに戻す取り組みとして、新たに「わいわいグルメリリー」を企画・実施したことを評価したい。市民活動団体や市内にある福祉事業所等と協働し事業を実施し利用促進を図っていくことは、市としてにぎわい交流館に担ってほしい事業である。		
			【12 利用者支援業務】 老朽化した紙折機を新しいものに入れ替えた。多少導入コストはかかったかもしれないが、利用者目線にたち、入れ替え前の紙折機と操作性があまりかわらない機器を導入できた。 【13 モニタリング】 年一回ではあるが、利用団体へのアンケート調査を行い、利用団体のニーズ等を把握するように努めている。
	(施設所管課) 改善に向けた助言等の内容		市民及び市民団体からの複雑多岐にわたる要望等を職員で情報共有し、より効果的に利用者支援を行ってほしい。また、特定の市民団体だけの利益にならないように、公平かつ広い視野をもち支援後の効果までを見据え支援をしてほしい。

個別評価事項 (設置目的に応じた内容)	1 相談・支援業務	施設の設置目的を踏まえ、相談業務の体制の整備と実施及び必要な支援に取り組んでいる。	5	点	
	2 情報の受発信	市民自治活動に関する情報の収集や発信に努めている。	4	点	
	3 地域との連携	地域や関係団体等との連携や協働の推進に努めている。	4	点	
	4 人材育成等	市民自治活動を担う人材育成に取り組んでいる。	4	点	
	特記事項	<p>標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由</p> <p>【1 相談・支援業務】 前年度より増加した相談件数に対し、適切に対応できた。特に、市民自治活動推進補助金の申請前の事前相談については、団体から複数回にわたる相談に対し、丁寧に対応したことにより、提出された企画提案書等について、市民協働課から各団体へ修正を指示するケースは少なかった。</p> <p>標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由</p> <p>その他特記事項</p> <p>(施設所管課) 改善に向けた助言等の内容</p>	<p>自主事業として、SNSを活用した情報発信を効果的に行っている。</p> <p>にぎわい交流館の指定管理を担ってきた経験を活かしつつも、市の市民活動支援の方針と擦り合わせをしながら、市民、市民団体、地域、企業などとの繋がりを強化できるように事業を計画し実施してもらいたい。</p>		
総評	課題点に対する取組状況 ※昨年度指摘した課題は解消されたか。	前年度の指摘事項であった、新型コロナウイルス感染症の中であるが、わいわいフェスティバルを含め多くのイベントが対面開催されるので、適切に対応することについては、すべてのイベントにおいて問題なく対応し開催することができた。特に、わいわいフェスティバルでは運営事務局を担い、来館者の受付、ルート設定、会場内の人員配置など、前例がない状況の中で適切に対応し、評価の高いイベントとすることができた。	合計	82	点
	一年間の総評 ※点数では表すことができない、指定管理者の管理運営業務における創意工夫や改善等を幅広く記載する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症が収束に向かう中、会議室利用方法や定員が年度内に変更することもあったが、指定管理者から各市民団体へ適切に情報提供ができたことにより、トラブルなく館の運営を行うことができた。</li> <li>・光熱費の高騰が続く中、職員の努力により、電気代の使用料を前年度より削減し、電気代の支出を抑えることができた。</li> <li>・最後に今年度は、わいわいフェスティバル、夢まつり、市民まつりが3年ぶりに対面開催された。どのまつりでも、市、市民団体と協働し、問題なく各まつりを終えることができた。特にわいわいフェスティバルは事務局を担い、新型コロナウイルス感染症に対応しながら、無事に開催することができた。来場者アンケート、出展団体アンケートでも評価が高かったことはよいことだと考える。</li> </ul>	総合判定	A	

判定基準	5点…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	4点【標準点】…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	3点…基本協定書等の内容は遵守されているが、これを上回る部分がなく課題の解消が必要な部分がある。
	2点…基本協定書等の内容を一部下回るものがあり、改善に対する課題がある。
	1点…管理運営が適切に行われたとは認められず、抜本的な改善を要する。

総合評価基準	S【優良】合計85点以上…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	A【良好】合計70点～84点…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	B【適正】合計60点～69点…一部に課題の解消が必要な部分があるが、概ね妥当である。
	C【改善】合計50点～59点…期待する水準を満たす状況になく、改善が必要である。
	D【抜本的改善】合計49点以下…期待する水準を大幅に満たしておらず、抜本的な改善が必要である。